

京都大学複合原子力科学研究所 原子炉設置変更承認申請書(研究用原子炉の変更) 変更比較表

変更前	変更後	
<p>二. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の構造及び設備 (2)核燃料物質貯蔵施設の構造及び貯蔵能力 (i)新燃料貯蔵設備 所内<u>トレーサー棟</u>に鉄筋コンクリート製、鉄製扉を持つ新燃料貯蔵室を設ける。新燃料要素の到着後装荷までの間、或いは燃料の試験等のため照射したもので表面線量が一定値を超えない燃料要素を最大 72 本貯蔵できる。 貯蔵室にはラックがあり、この中に燃料要素を貯蔵する。</p> <p>(ii)炉心タンク内燃料貯蔵設備 炉心タンク内壁に沿って燃料貯蔵用ラックが設けてある。このラックは装荷前に一時的に貯蔵される新燃料要素、使用済燃料で再び燃料として使用する予定のもの等を最大 48 本貯蔵できる。このラックに貯蔵する燃料要素は、運転停止後 2 日以上経過したものとする。</p>	<p>二. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の構造及び設備 (2)核燃料物質貯蔵施設の構造及び貯蔵能力 (i)新燃料貯蔵設備 所内<u>トレーサ棟</u>に鉄筋コンクリート製、鉄製扉を持つ新燃料貯蔵室を設ける。新燃料要素の到着後装荷までの間、或いは燃料の試験等のため照射したもので表面線量が一定値を超えない燃料要素を最大 72 本貯蔵できる。<u>なお本設備に貯蔵する燃料要素のウラン-235含有量の総量は10kg未満であることとする。</u> 貯蔵室にはラックがあり、この中に燃料要素を貯蔵する。</p> <p>(ii)炉心タンク内燃料貯蔵設備 炉心タンク内壁に沿って燃料貯蔵用ラックが設けてある。このラックは装荷前に一時的に貯蔵される新燃料要素、使用済燃料で再び燃料として使用する予定のもの等を最大 48 本貯蔵できる。このラックに貯蔵する燃料要素は、運転停止後 2 日以上経過したものとする。<u>なお炉心に挿入されている燃料要素と本設備に貯蔵する燃料要素のウラン-235含有量の総量は10kg未満であることとする。</u></p>	<p>本文-8</p>
<p>8-4-2 核燃料物質貯蔵設備の構造及び貯蔵能力 (1)新燃料貯蔵設備 所内トレーサ棟に鉄筋コンクリート製、鉄製扉を持つ新燃料貯蔵室を設ける。燃料要素は加工完成された後送られてくるが到着後装荷までの間、或いは燃料の試験等のため照射したもので表面線量が一定値を超えない燃料要素はこの貯蔵室に貯蔵される。貯蔵室内部は乾燥空気を通じて換気を十分に行い、貯蔵による腐食等の事故が起らない</p>	<p>8-4-2 核燃料物質貯蔵設備の構造及び貯蔵能力 (1)新燃料貯蔵設備 所内トレーサ棟に鉄筋コンクリート製、鉄製扉を持つ新燃料貯蔵室を設ける。燃料要素は加工完成された後送られてくるが到着後装荷までの間、或いは燃料の試験等のため照射したもので表面線量が一定値を超えない燃料要素はこの貯蔵室に貯蔵される。貯蔵室内部は乾燥空気を通じて換気を十分に行い、貯蔵による腐食等の事故が起らない</p>	<p>添 8-91</p>

変更前	変更後	
<p>よう、またごみなどがつかえないよう配慮する。</p> <p>貯蔵室には、外側がボロン入りステンレス鋼板でできているラックが設けてあり、この中に燃料要素を貯蔵する。ラックは 2 列になっており、ラック全体に燃料要素が入った状態で浸水しても臨界にはならない。本設備の最大貯蔵本数は 72 本である。</p> <p>(2)炉心タンク内燃料貯蔵設備</p> <p>炉心タンク内壁に沿って、耐食アルミニウム合金製の燃料貯蔵用ラックが設けてある。このラックは炉心装荷前に一時的に貯蔵される新燃料要素、使用中燃料で一時的に炉心から取り出したもの、使用済燃料で返送しようとするもの等の燃料要素を最大 48 本貯蔵できる。このラックに貯蔵する燃料要素は、運転停止後 2 日以上経過したものとする。</p>	<p>よう、またごみなどがつかえないよう配慮する。</p> <p>貯蔵室には、外側がボロン入りステンレス鋼板でできているラックが設けてあり、この中に燃料要素を貯蔵する。ラックは 2 列になっており、ラック全体に燃料要素が入った状態で浸水しても臨界にはならない。本設備の最大貯蔵本数は 72 本である。<u>なお本設備に貯蔵する燃料要素のウラン-235含有量の総量は10kg未満であることとする。</u></p> <p>(2)炉心タンク内燃料貯蔵設備</p> <p>炉心タンク内壁に沿って、耐食アルミニウム合金製の燃料貯蔵用ラックが設けてある。このラックは炉心装荷前に一時的に貯蔵される新燃料要素、使用中燃料で一時的に炉心から取り出したもの、使用済燃料で返送しようとするもの等の燃料要素を最大 48 本貯蔵できる。このラックに貯蔵する燃料要素は、運転停止後 2 日以上経過したものとする。<u>なお炉心に挿入されている燃料要素と本設備に貯蔵する燃料要素のウラン-235含有量の総量は10kg未満であることとする。</u></p>	